

令和元年度
「教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価」報告書
(平成30年度事業)

知夫村教育委員会

目次

総務事業	3
学校教育事業	4
社会教育事業	5～7
公民館事業	8

※予算額については30年度当初の金額を掲載

総務事業

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
教育委員会	村内教育諸問題の解決と教育行政の確立を目指すと共に、教育委員皆さまの資質の向上を図る。	教育委員 教委事務局	毎月1回 臨時会（随時）	知夫村役場 知夫小中学校	1,052	1,016	毎月1回開催し、教育諸問題について審議している。今後、教育課題について更に深く掘り下げて議論し、住民に身近な会議として周知していきたい。
教育委員研修	市町村教育委員会連合会総会と研修会に参加して、教育行政全般について教育委員の理解を深め教育委員会の運営の充実に資する。	教育長 教育委員	7月13日	松江市	101	78	教育長が参加し、教育行政全般について理解を深め、教育委員会の運営の充実に資することができた。
保小中一貫教育を支える会	保小中一貫教育の推進と充実にについて様々な立場、角度から協議する。	各団体の長 教委事務局	2回実施	知夫小中学校	90	30	保小中一貫教育について、「知夫里島学び舎構想」の説明や、これから支えていく諸課題について協議した。
学校・教委連絡会	学校と教育委員会及び事務局との連携を深めると共に、諸問題に対して共通の認識をもって協議する。	教育長 学校長・管理職 教委事務局	毎月	知夫小中学校	-	-	学校現場の現状・諸課題、教委からの提言・報告事項などを協議した。
各種施設安全点検	小、中、その他の施設の保守点検を行い事故のないよう管理する。	小中学校	年間随時	知夫小中学校	-	-	毎月学校で行っている安全点検について報告を受け、危険箇所等については直ちに改善するよう取り組んでいる。
教育委員会点検評価実績作成	委員会の活動を点検・評価し、議会等に報告する。	教育委員会		知夫村役場	-	-	教育委員会において実施されている事業内容・決算状況・事業評価などを冊子にまとめ、議会全員協議会において報告した。

学校教育事業

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
教育委員 学校訪問	学校長の運営方針等を聞くとともに、施設の営繕関係の現状を把握する。また、学校の諸問題について協議、検討を行う。	教育委員 学校長 教委事務局	6月4日	知夫小中学校	-	-	学校の状況や、諸問題について意見交換し、学校教育の充実に向け有意義な話し合いができた。
管理職研修会	学校経営の基本的事項及び教育諸問題等についての見識を高め指導力の向上を図る。	学校長 教頭	年2回	隠岐教育事務所	県費旅費		学校経営の基本的事項を再確認し、学校における諸課題と、その対応について学び、指導力の向上を図ることができた。
ALT配置事業	英語によるコミュニケーション能力の向上と、児童生徒の国際理解、異文化理解を目的とした各種事業を行う。	保育所 小中学校 公民館	年間随時	保育所 小中学校	4,323	4,201	保育所・小中学校へ英語指導助手を派遣することにより、英語によるコミュニケーション能力の向上が図られた。 また、一般住民向けの英会話教室も実施し、興味のある住民の参加を得ることができた。
隠岐教育支援委員会	障がいのある児童生徒の適正な就学指導と特別支援教育の振興を図る。	隠岐教育支援委員会	年2回	隠岐の島町教育委員会	11	11	知夫村における特別支援教育の支援体制を整えることができ、保育所と小学校の連携を深めることができた。
高度へき地 修学旅行	小中学校の修学旅行に際しての旅費を助成する。	中学校	6/19～22	沖縄県	1,919	1,919	小学校5・6年生10名が修学旅行で広島県へ行った。県外に出かけることにより見識を深め、平和学習について学んだことは、かけがえない体験となった。
各種大会 派遣事業	中学校の部活動について、島外の大会へ参加する生徒、引率の旅費を助成する。	中学校	年間随時	隠岐島内 島根県内	2,303	1,614	島外の大会に参加することによって、大会の雰囲気慣れ挑戦意欲が高められ、技術の向上が図られた。
島根県学力調査	児童生徒の学習状況等を把握し、今後の教育施策における指導の充実を図る。	小学校3～6年 中学校1～2年	12月11日	小中学校	0	0	学力についての強みと弱みの部分が把握できた。今後は家庭学習の充実を図るため、家庭との連携の強化を進める。
子ども読書活動 推進事業	図書ボランティアの配置、図書館活用、読み聞かせ等により、読書活動の推進を図る。	図書ボランティア 小中学校	年間随時	小中学校	80	80	小中学校にそれぞれボランティアを依頼し、図書室、図書コーナーの充実を図り、児童生徒が図書室に訪れやすい環境を整備した。新しく購入した図書のカバー張りや、データ登録等貸し借りがスムーズに行えるようになった。
保小中一貫教育 フォーラム	一貫教育への理解を深めるとともに、村民へ広報を図る。	教育委員会 学校教職員 村民	2月24日	小中学校	85	85	村民の参加が多数あり、フォーラムの感想からも一貫教育への関心の高さや期待が見受けられた。
教育委員会 表彰事業	隠岐、県の各種大会で活躍した児童、生徒を対象に教育委員会で表彰し楯を贈呈する。	小中学生	年間随時	小中学校	100	100	表彰式を村のイベント等で行い、地域住民の方に子どもたちの活躍を知ってもらうことが出来た。

社会教育事業

(単位：千円)

①会議、研修

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
社会教育委員会	社会教育に関する諸計画を立案し事業・予算について研究協議し、方針を提言する。	社会教育委員 教委事務局	4月23日 7月31日 12月3日 3月22日	知夫村役場	42	24	公民館審議会を兼ねる。計4回開催し、事業予算について審議したり、企画、運営において、様々な意見を聞いたりし、事業改善に役立つ話し合いとなった。
社会教育委員 教育委員会職員 研修会	社会教育・生涯学習全般を通じた各種の研修等を企画、また参加することにより、関係職員の資質の向上を図る。	社会教育委員 教委事務局	年随時	隠岐島内	273	223	隠岐地区で委員の連絡協議会を発足し隠岐4町村合同で研修会を年2回開催する。また中四国社会教育研究大会などの研修に参加した。学校や家庭、地域との連携について学んだほか他の参加者と意見交換を行い、社会教育に関する理解の向上や指導者の資質の向上に役立った。

②青少年教育

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
城が峰会	地域の大人が子育てに関する事業を企画・運営するための会議等を開催し、子どもの育ちを支えていく。また、研修会に参加し地域リーダーとしての資質向上を図る。	城が峰会スタッフ 教委事務局	年随時	村内	—	—	事業で子どもたちにどんな経験をしてほしいか協議し、それに基づき企画会を開催し実施した。実施後には反省会で改善点の確認を行った。研修会にも参加してもらい、地域のリーダーとしての資質の向上になった。
ふるさと教育 推進事業	子どもたちに積極的な心や自立心、生きる力、よりよい人間関係を育成する事業を行う。また、学校、家庭、地域が協力し事業を展開することにより地域の連帯意識や教育力を高める。	小中学生 保護者 社会教育関係者 地域住民	年5回	村内	85	85	隠岐の歴史、文化、産業について地域内外から講師をお招きし学習講座を開催した。座学のみではなく、体験型学習を大人と子ども一緒に行うことでより深く学び、交流活動にもつながった。
放課後子ども教室 推進事業	子どもを地域全体で育てるという基本理念に基づき、地域の大人たちの力を結集して放課後や休日を健やかに過ごすことができる環境を保障し、地域での子どもの育ちを支える。	小中学生 保護者 社会教育関係者 地域住民	年間随時	村内	155	100	子どもたちはさまざまな経験から、挨拶、自立心、協調性などを高めることができた。地域の大人がスタッフやボランティアとして子どもに関わることで、地域で子どもの育ちを支えようとする意欲や姿勢が向上し、地域全体の教育力が高まった。事業によっては城が峰会に企画段階から協力してもらい、充実した内容でできた。
学校支援 地域本事業	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することで、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力活用化を図る。	小中学生 保護者 社会教育関係者 地域住民	年間随時	村内 松江市	20	4	学校の要望に応え、地域住民が学校を支援する仕組みを整えた。また、子どもの育ちに関わる城が峰会スタッフ等が各種研修会に参加し、指導者としての資質向上に努める事ができた。
豊かな体験 交流事業	知夫村ではできない体験を子どもたちに提供し、様々な人との交流をとおして豊かな情操を育み、コミュニケーション能力の向上を図る。	小学5,6年生	1月17～20日	邑南町	750	634	民泊先の方々との交流やスキー体験など島では経験できないことを体験することができた。また、子ども達にも事業の趣旨目的を理解してもらうため、事前学習に担当が参加したり、期間中に振り返りの時間を設けた。
ふるまい向上合宿	洗濯、炊事等日常的な家事を行いながら職場に通う合宿体験を行う事により、生活技術を学び、ふるまいの向上を目指す。	中学生	8月26日～9月1日	開発センター	240	86	中学生が6泊7日の合宿を実施、共同生活で相手を思いやる気持ち、家事炊事を行い自主性、自立性を高めた。日々振り返りを行い自身や他参加者、島大生のボランティアにも協力してもらい斜めの関係育成を図ることが出来た。

③読書活動推進

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
県立図書館 巡回図書を活用	県立図書館巡回図書（1300冊）を保育所・学校へ配本することにより、読書活動の普及を図る。	保育所 小中学校 地域住民	年間2回	保育所 小中学校 知夫村役場	-	-	役場、保育所、小中学校に配架できた。年2回入れ替えをおこなった。入れ替え後の案内を地域住民に周知できた。
地域図書整備事業	各地区の集会所、バス停において図書コーナーを設け村民に広く図書にふれる場を提供する。	地域住民	年間随時	各地区バス停	350	318	定期的にバス停に行き図書の入れ替え以外にも掲示板のポスターや行事案内を更新することが出来た。

④知夫村郷土資料館運営

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
郷土資料館 運営委員会	村内に点在する各種文化財を保存・蒐集し、この文化財の活用について研究、協議する。	委員 教委事務局	4月21日 10月26日 11月8日 2月16日	知夫村役場	30	30	文化財保護審議会を兼ね、年4回実施した。郷土資料館の展示案内の看板の工夫や展示品の周知について協議した。
資料館整備	村民や観光客が見学しやすいように、看板、コーナー表示、などを整備充実する。展示品や展示室の清掃を行う。	委員 教委事務局	年随時	郷土資料館	238	210	各社会教育事業で資料館の展示品の紹介を行ったり、館内の清掃を定期的に行ったりした。

⑤文化財関係

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
文化財保護審議会	文化財の調査・研究と保護体制の確立について研究協議する。	委員 教委事務局	4月25日 7月31日 10月24日 3月22日	知夫村役場	36	27	郷土資料館運営委員会を兼ね年4回実施した。村内の文化財の村民への周知や新規指定の準備、破損していた看板の修復や、文化財を題材にした講座の開催の実施について話し合った。隠岐の文化財の原稿案についても意見を交わした。「蘇民将来」の調査についても意見を交わした。
文化財の 維持、管理	村内に点在する遺跡周辺の草刈りや誘導路の整備、案内看板等の修繕を行う。	村内文化財	年随時	村内	74	10	古墳の周辺の草刈りを行い、景観美化にも務めた。
「隠岐の文化財」 編纂・発行	隠岐地域の文化財について記録・文献を探り文化財への理解を深めるため「隠岐の文化財」4町村で発刊する。	委員 教委事務局	年随時	隠岐島内	88	27	第36号の編纂、発行を行った。知夫を題材とした原稿案を委員と検討した。また村内の地域図書のコーナーにも数冊ずつ配架し地域住民にも隠岐の文化財の活動の周知を行った。
隠岐ジオパーク (職員研修、広報)	隠岐ジオパーク事業に関する職員・担当員の研修等に参加することにより関係職員の資質の向上を図る。又、ジオパーク事業に関する広報を行い普及を図る。	教委事務局	年随時	隠岐島内	15	0	隠岐ジオパーク推進協議会主催の研修等に参加できなかったため。

⑥文化芸術、郷土芸能

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
郷土芸能団体への助成	郷土芸能団体への助成と保護を行う。	伝統芸能活動団体	年1回	村内	150	150	知夫村神楽同好会、知夫村郷土伝承芸能保存会へ補助金の助成を行った。また多沢地区への管理費の支給を行った。

⑦人権・同和教育

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
子どもの人権講座	子どもを対象とした講座を行うことで参加した子どもたちに人権教育について意識や理解を深めることをねらいとしている。	中学生 教職員 保護者	8月26日	開発センター	-	-	ふるまい向上合宿時に開催、人間関係作りの視点から人権について学んだり、中学生の身近に起こり得る人権問題についてワークショップを行いながら学習したりした。
人権同和教育 学習会・講演会	人権・同和教育に関する講演会を実施し、同和教育や人権課題に対する正しい知識と人権意識の向上を目指す。	小中学校 行政職員 地域住民	9月29日	村内	149	6	講師を村外から招いて村民及び職員への研修を実施した。島根県同和教育推進協議会隠岐ブロックの事務局を30年度まで持つ。
人権同和教育 研修会	人権・同和教育全般を通じた各種の研修等に参加することにより関係職員の資質の向上を図る。	行政職員 教職員 教委事務局	年間随時	隠岐島内 松江市	149	85	島根県内で実施されている研修に参加し、職員の資質向上を図った。

⑧保健体育関係

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
知夫村体育協会への助成	知夫村体育協会へ助成を行い、社会体育の振興を図る。	知夫村体育協会	年間随時	村内	250	250	知夫村体育協会へ助成を行い、村内の体育の振興・向上につながった。体協主催の村民体育祭やスポーツ大会を開催し、地域住民の意識向上につながった。
島前体育協会への助成	島前体育協会へ助成を行い、島前地区の社会体育の振興を図る。	島前体育協会	年間随時	島前3町村	205	205	島前体育協会へ助成を行い、3町村での各種大会を開催した。知夫村からも大会参加の補助を行った。
島根県体育協会への助成	島根県体育協会へ助成を行い、社会体育の振興及びスポーツの推進を図る。	島根県体育協会	年間随時	島根県	18	18	島根県体育協会へ助成を行い、県内で行われる大会等について村内に周知した。
隠岐体育協会への助成	隠岐体育協会へ助成を行い、社会体育の振興及びスポーツの推進を図る	隠岐体育協会	年間随時	隠岐4町村	11	11	隠岐体育協会へ助成を行い、隠岐で行われる大会等について村内に周知した。
社会体育団体への助成	器具、用具等を購入、充実を図り、各種スポーツ団体が行う活動を支援する。	各体育団体	年間随時	村内	80	41	知夫村で活動する各体育団体へ体育館の使用や用具の購入等の支援を行い、社会体育の振興を図った。

公民館事業

(単位：千円)

①会議、研修、広報

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
公民館運営審議会	公民館運営に関する諸計画を立案し、事業・予算について研究協議し、方針を提言する。	委員 教委事務局	4月23日 7月31日 12月3日 3月22日	知夫村役場	36	24	社会教育委員会を兼ねる。計4回開催し、事業予算について審議したり、企画、運営において、様々な意見を聞いたりし、事業改善に役立つ話し合いとなった。
各種研修会	公民館事業を推進する上で研修会等に参加し、担当者の資質向上に資する。	委員 教委事務局	年間随時	隠岐島内 松江市	209	136	公民館研修会に参加。

②教養講座

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
公民館事業文化・教養教室	文化的教養講座を開講し、村民に楽しみや生きがいを提供する。	地域住民	年7回	村内	20	14	中学生向け料理教室を実施した。その他にも体験学習の機会も提供できた。
英会話教室	コミュニケーションツールとして英会話を学習する機会を提供する。	地域住民	年間随時	知夫村役場	10	0	毎週2回、夕方に実施、ALTが参加者に応じた講習を行った。

③地域に根ざした事業

事業名	事業のねらい・内容	参加対象者	実施時期等	実施場所	予算額	決算額	評価・課題
知夫里島 どっさり祭	日頃の文化的学習成果の発表、芸術鑑賞の他、村民どうしが交流する場を提供する。	地域住民	11月3日	開発センター	500	491	地域住民に企画・参画時点から参加してもらい、祭の運営に係わってもらった。過去最多となる展示、出店、出演となり、地域全体でどっさり祭りを盛り上げることが出来た。
ALTとの国際交流	ALTとの交流で異文化のグローバルな見識をもち、外国語の教養を高め、コミュニケーション能力の向上の場を提供。	小中学校	12月15日	開発センター	40	30	ALTの話やゲーム、お菓子作り等を通じて、異文化への興味、関心への動機づけにつながった。
ふれあい グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフを通して、村民どうしがふれ合う機会を提供する。	島前3町村	5月20日	ふれあい広場	20	2	島前内で広く親しまれているグラウンドゴルフ大会を知夫で実施した。知夫に訪れる機会となり、3町村の参加者同士の交流を図った。島前高校からの参加もあり世代間の交流も行えた。
もちつき大会	子ども、父母、祖父母がそろってもちつきを行う事を通して、家族や地域住民間の交流を図る。	小中学校 保護者 地域住民	12月7日	開発センター	50	5	計画案の段階から子どもたちにも仕事を与え、やりがいづくりに努めた。広報活動も行い親子以外の住民への参加も呼びかけ多世代交流につながった。老人会からの参加を呼び掛ける。